

事業評価について

令和8年5月13日(水)

企画財政部 行政経営課

目次

- 事業評価 実施の背景 3
- 施策評価と事業評価 5
- 事業評価全体のイメージ 6
- 事業評価の流れ 対象事業抽出 7
- 事業評価の流れ 課題の整理 8
- 事業評価の流れ 課題解決の取組 10
- 事業評価のこれまでの取組 13
- 今後の取組 15

◆ 事業評価 実施の背景 -船橋市-

人口構造の変化

人手不足の拡大

デジタル技術の進展

社会の変化に対応



行革プランに基づく
事業の見直し

引き続き

事業の点検・見直しを継続

“社会の変化をとらえられる”、継続的な取り組みが必要

◆ 事業評価 実施の背景 -国の動向(令和3年当時)-

政策評価審議会提言(令和3年3月) の要旨

現状

評価のための評価になっており
改善に必要な分析が不足

特定のやり方にとらわれ、
評価の枠組みの見直しが行われない

データ等の活用が少ない

行政の評価のあるべき姿 (国)

政策の立案・改善の役に立つ評価

形式・方法・手順にとらわれず、
改善を実現することを重視した
適時・適格かつ弾力的な評価

研究やデータに裏打ちされた納得できる評価

◆ 事業評価とは

行政評価

施策評価

- **施策単位**の評価
- 総合計画に掲げる施策の進捗状況を、施策単位の指標の推移を分析・評価することで、より効果的な計画の推進を図る

第3次船橋市総合計画
進捗状況報告書
(令和4年度～令和6年度)

令和7年11月
船橋市

めざす方向へ推進

本日のテーマ

事業評価

- **個別事業単位**の評価
- 事業の特性や目的に応じて、事業所管課が点検し、課題を整理することで、事業の改善・経営資源の最適化を図る

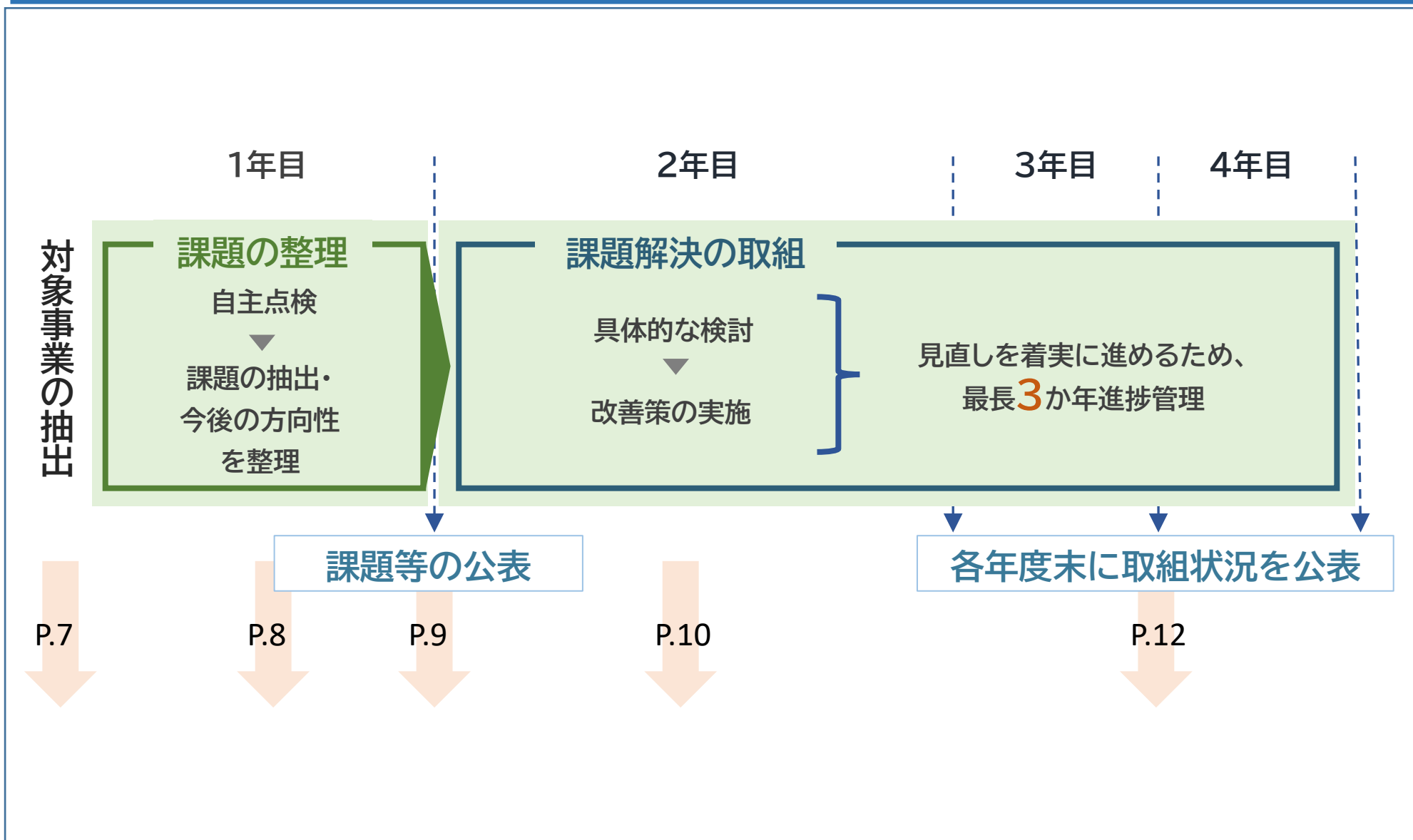


令和6年度事業評価の
取組状況

令和8年(2026年)3月

より効果的・効率的に

◆ 事業評価全体のイメージ



◆ 1年目：課題の整理 -対象事業の抽出-

■「自主提案の事業」+「テーマ設定に該当する事業」を対象事業として抽出

①

“事業所管課による自主提案の事業”



②

テーマ設定

評価の視点

近年開始・拡大した事業

(おおむね3～5年以内に開始・拡大した事業)

初期の目的に対する実施状況の点検

事業費の増加・減少が著しい事業

(5年で増加率120%以上、減少率80%以下)

増減理由や持続可能性

類似・重複している事業

(国・県制度、市の他制度と類似・重複している事業)

類似・重複部分や必要性

担い手の確保が難しいと思われる事業

(人材の確保・育成、ボランティアの協力を要する事業)

事業の安定性・継続性

◆ 1年目:課題の整理 -自主点検と課題の抽出等-

- 事業所管課による自主点検と、課題の抽出
- 行政経営課による情報等の補足

事業所管課

自主点検

- 事業評価シートを作成し、事業の情報を整理

課題の抽出

- 点検した情報等を基に、課題を抽出し、今後の方向性を整理

点検の視点(例)

- 実施背景や社会情勢の変化により事業の必要性が低下していないか
- 目的の達成、市民サービスの向上に有効な手法となっているか
- デジタル化、委託等による業務の効率化ができないか
- 現在の制度・実施方法で、今後も安定的に事業継続できるか

行政経営課

- ✓ 情報の補足
- ✓ 類似事業の確認
- ✓ 事業課とは別の視点による課題の確認



「こういうデータもあるが」

「他部局の事業と類似していないか」

「継続的に続けていけるのか」

◆ 1年目:課題の整理 -課題等の公表-

船橋市ホームページにて課題と取組の方向性を公表

評価結果及び取組状況の公表

[令和4年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和5年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和6年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和7年度事業評価の評価結果はこちら](#)

予算や事業に反映された主な見直し

[事業評価によって、予算や事業](#)

[予算や事業に反映された主な見直し](#)

ファイルダウンロード

[📄 予算や事業に反映された主な見直し](#)



令和7年度事業評価の
評価結果

令和8年(2026年)3月

令和〇年度 事業評価シート

所属名					
1. 基本情報					
事業名称					
実施係長 (名称・姓前・姓姓)					
事業開始年月					
最終改正年月					
事業目的 (実現・達成した)					
事業概要 (誰に、何を、どう)					
実施内容 (事業を実施するに必要とした 関係・要因)					
ご社までの経緯 (ご事業・実用・事業課題 サービス内容などの変更の発 生)					
事業内容	対象者	内容 (要件・準備・実施期・サービス内容など)			
2. 事業実績					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費 (単位:千円)	当初予算額				
	うち一般財源				
	決算(税込)額				
対象者数・ 交付件数など					
3. 交付税、国・県補助の有無					
	有無	(ありの場合) 名称・内容			
交付税措置					
国・県補助					
(国・県補助への) 上乗せ・拠出し					
4. 業務量					
期工程					
業務年度 (年1回/月1回など)					
		常勤職員	会計年度任用職員	再任用(%)	再任用(名)
人工					
	従事者数				

※ 職員1人の労働力 = 1人工、国等事業の人工も記載。複数人が携わっている場合は、それぞれの人工を合計。
【記載方法】従事者2人、労働力の合計がそれぞれ3割の場合 ⇒ 合計0.6人工(0.3人工×0.3人工)

令和〇年度事業評価 評価結果

所属名	
事業名称	
(1) 自主点検で整理した結果・課題、今後の方向性(改善のアイデア/注視すべきポイント)	
項目	今後の方向性
現状の課題と 取組の方向性 を記載	
項目	今後の方向性
(2)	
項目	今後の方向性
今後の取組み	

シートの読み方例についてはP.12で説明いたします

◆ 2年目以降:課題解決の取組 -具体的な検討-

➤ 整理した課題等を踏まえ、具体的な検討を進める

事業所管課

調査・分析

例
・ 事業の詳細分析
・ 他市の事例調査 等

対応策の
検討

例
・ 実施時の予測分析
・ 改善案の比較検討 等

関係者調整

例
・ 関係部署の調整
・ 関係者への周知、
意見聴取 等

行政経営課

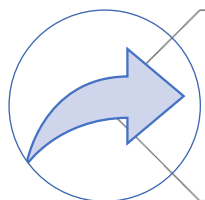


事業評価の進捗確認を通じて、
事業所管課による取組を促進

- ◆ 分析・整理・検討の補助
- ◆ 庁内横断的な調整や合意形成の補助

◆ 2年目以降:課題解決の取組 -改善策の実施-

(例)



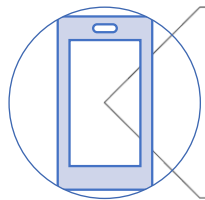
内容の見直し



拡大・縮小



効率化・集約化



デジタル化・委託化

事業名	見直しの内容
難病疾患患者扶助費	定額給付により通院分の実績払いのための証明書を廃止し、公平で簡素な制度とする見直しを図った。入院については、現在と同様入院月数に応じた実績払いとし、証明書は同様に廃止した。給付額について、現行の給付水準を基に、医療上の必要性に応え、受療上必要な費用を一定程度負担軽減できる額を設定した。
危険コンクリートブロック塀等撤去助成事業補助金	1メートルを超える危険なコンクリートブロック塀等を撤去する費用を助成する事業について、市内小学校通学路の未改修のコンクリートブロック塀等の現状確認及び所有者訪問を行った。令和7年度よりコンクリートブロックの撤去(改修)を促すため、撤去助成限度額の引き上げ、助成要件の見直しを行った。
狂犬病対策費	動物病院で狂犬病予防注射を受けた際の注射済票発行及び手数料徴収の事務について、飼い主の利便性向上と行政事務の効率化を図るため、動物病院への委託化を行った。
粗大ごみ電話受付センター事業費	粗大ごみ収集の受付業務について、インターネット受付及び粗大ごみ処理手数料のキャッシュレス決済に対応するよう、令和7年4月から委託化を行った。

内容の見直し

拡大

効率化

デジタル化・委託化

◆ 2年目以降:課題解決の取組 -取組状況の公表-

船橋市ホームページにて取組状況を公表

評価結果及び取組状況の公表

[令和4年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和5年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和6年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和7年度事業評価の評価結果はこちら](#)

予算や事業の進捗状況の主な見直し

事業評価

予算や事業

ファイルダウン

予算や事業



令和6年度事業評価の 取組状況

令和8年(2026年)3月

令和〇年度 事業評価シート

所屬名	所任課	事業名称	評価結果		
1. 基本情報					
(1) 自主点検で管理した結果・課題、今後の方向性 (改善のアイデア・注視すべきポイント)					
課題	項目	点検結果・課題	今後の方向性		
事業の情報を記載					
現状の課題と取組の方向性を記載					
(2) 追加で整理した事項や取組、今後の方向性 (改善のアイデアは注視すべきポイント)					
項目	実施予定時期	実施内容	今後の方向性		
2. 事業実績					
事業費 (単位:千円)	当初予算額	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	うち一般財源				
対象者数・交付件数など	決算(税込)額				
今後の取組み					

取組状況

※令和〇年度評価結果に対する各年度の取組状況を記載しています

項目	状況	令和〇年度状況		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
1				
2				
3				
4				

課題に対して
行った取組
を記載

別添の資料をご覧ください

3. 交付税・国・県補助の有無

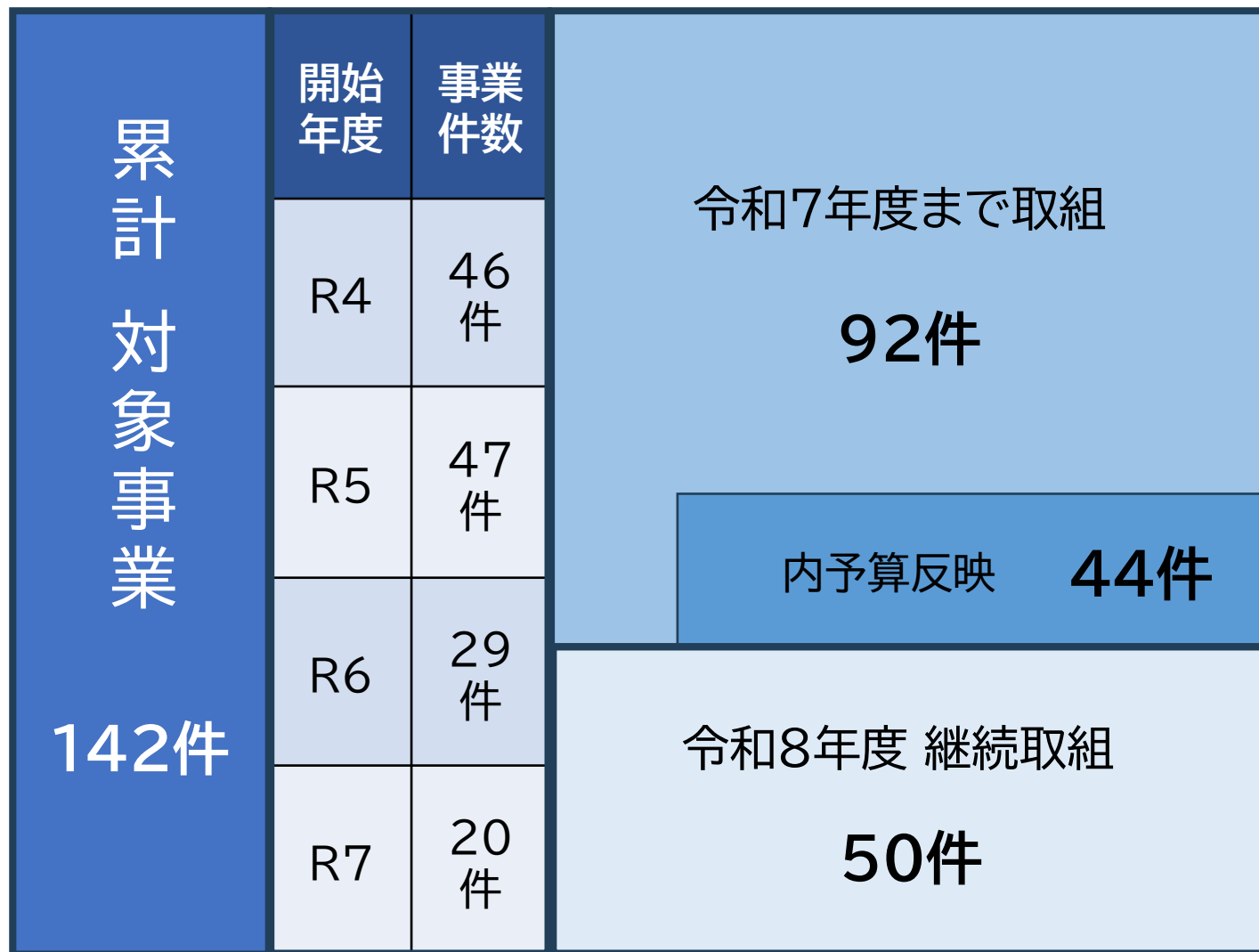
交付税措置	有無	(ありの場合) 名称・内容
交付税措置		
国・県補助		
(国・県補助への 上乗せ・横出し)		

4. 業務量

職种	業務量			
	常勤職員	会計年度任用職員	再任用(%)	再任用(人)
人工				
従事者数				

※ 職員1人の労働力 = 1人工。当該事業の人工を記載。複数人が関わっている場合は、それぞれの人工を合計。
【記載方法】従事者2人、労働力の割合がそれぞれ3割の場合 ⇒ 合計0.6人工(0.3人工+0.3人工)

◆ 事業評価のこれまでの取組件数



次ページ「予算や
事業に反映された
主な見直し」に掲載

◆ 事業評価による主な見直しと周知・説明

船橋市ホームページにて「予算や事業に反映された主な見直し」を公表

評価結果及び取組状況の公表

[令和4年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和5年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和6年度事業評価の評価結果及び取組状況はこちら](#)

[令和7年度事業評価の評価結果はこちら](#)

予算や事業に反映された主な見直し

事業評価によって、予算や事業に反映された主な見直し

[予算や事業に反映された主な見直し一覧はこちらから](#)

ファイルダウンロード

[📎 予算や事業に反映された主な見直し（事業評価対象事業）](#)

番号	取組の区分	事業名	事業の見直しの内容	事業所管課名	評価年度
1	拡大	防犯施設設置費補助金	町会・自治会等が管理する防犯灯については、これまで設置費補助、維持管理費補助を行っていたが、町会・自治会等の負担軽減のため、希望する町会・自治会等について灯具の移管を市が受けて維持管理を行うこととした。	自治振興課	R4
2	廃止	共同生活援助等支援事業費（開設準備費補助金）	グループホームを開設した際に市独自で実施している備品等購入費用の一部助成については、市内のグループホームが充足しており、当該助成の必要性が低下していることから、令和7年度をもって廃止した。	障害福祉課	R4
3	廃止	共同生活援助等支援事業費（スプリンクラー設置）	グループホームを賃貸物件で開設した際に市独自で実施しているスプリンクラー等設置費用の一部助成については、近年、補助実績がない年度が継続していることから、令和7年度をもって廃止した。	障害福祉課	R4
4	縮小	特定退職金共済掛金補助金	中小企業向け退職金共済制度に対して国等が実施する補助制度との均衡を図るため、（公財）船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンターが行う特定退職金共済制度に加入した事業主に対する市独自の補助について、令和8年度から補助率及び補助期間を変更し、補助対象とする掛金額に上限を設けた。	商工振興課	R4
5	廃止	創業支援推進事業費（女性のための起業セミナー→交流会業務委託）	令和7年度に実施した参加者を女性に限定した起業支援について、令和8年度は、女性の起業支援に関する講座（市民協働課）に統合し両課で連携しながら実施するため、女性起業セミナー→交流会（商工振興課）は令和7年度をもって廃止した。	商工振興課	R4
6	拡大	看護師確保対策事業費	看護師資格を持ちながら現在は就業していない潜在看護師等の不安を解消し、復職を支援することを目的として研修会を行っているが、参加機会の拡大を図るため、回数を増やして実施することとした。	健康政策課	R5
7	拡大	産後ケア事業費 ※令和6年度まで、妊婦・出産支援事業費	市内の宿泊型産後ケア事業実施施設について、夜間の安全対策体制整備のため、夜間帯に2人以上の出産陣等の専門職を配置することを条件とした夜間加算を新設した。	地域保健課	R5

- 新任課長セミナー **を実施**
- 担当者向け説明会



◆ 今後の事業評価の取組 -取り組み事例の周知-

事業評価を通じた改善の取組事例を庁内にフィードバックし、
自律的な見直し・改善の一層の促進を図っていく